

サトメシダ

Athyrium deltoideifrons Makinoイワデングダ科
Woodsiaceae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由 北海道から九州まで広く分布するが、九州では比較的希である。本県では丘陵地や低山地の多湿地に希に分布し、湿地の開発や遷移進行で生育環境の悪化が懸念される。

県内分布 耶馬溪地区，津江山地，玖珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群

分布域 北海道,本州,四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎)
朝鮮半島南部から中国東部

生育環境 丘陵地や低山地の湿地や林縁。

現 状 生育が確認されている所では、個体数が著しく減少した所がある。

シイバサトメシダ

Athyrium neglectum Serizawa
subsp. *australe* Serizawaイワデングダ科
Woodsiaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 II

選定理由 四国山地や九州山地の山頂近くのブナ帯に生育する。本県では「祖母・傾山地」のみに分布し、遷移進行や登山者の踏み付けにより、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 祖母・傾山地

分布域 四国(徳島・愛媛),九州(熊本・大分・宮崎)

生育環境 山地の草地や林縁。

現 状 登山道に沿って生育しており、個体数はごくわずかである。

備 考 日本固有種。

ツクシイヌワラビ

Athyrium kuratae Serizawaイワデングダ科
Woodsiaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 中部地方以西から九州に分布する。本県では生育地も少なく、溪流沿いの岩上や林内に生じるため、風水害による生育地の消滅が懸念される。

県内分布 耶馬溪地区，津江山地，北川上流域

分布域 本州(中部地方以西),四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
中国,台湾

生育環境 丘陵地や低山地の溪流沿いの岩上や林内。

現 状 生育地における生育範囲はどこも狭く、個体数も少ない。

備 考 アリサンイヌワラビは異名として取り扱った。